

## 授業の具体的展開例

### 単元のまとめ

★なぜ、日本は（大陸進出をはじめとする）戦争への道を歩んだのか。

（例）

軍部や国家主義者は、世界恐慌以降の経済の行き詰まりを打開するために大陸への侵略を企て、「五・一五」「二・二六」事件をきっかけにイタリアやドイツなどのファシズム諸国に接近していった。

★なぜ、アメリカ、イギリス等を相手に戦うことになったのか。

（例）

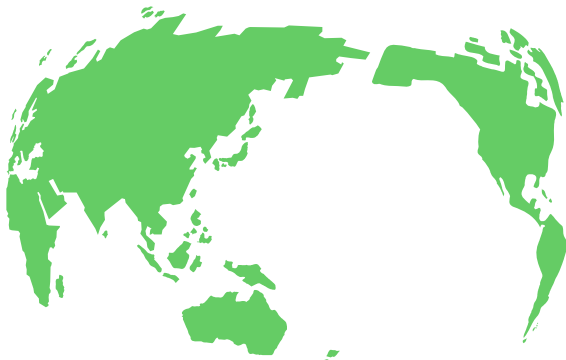
東南アジアの資源を手に入れようとしていた日本に対して、アメリカが石油や鉄の日本への輸出を禁止した。また、アメリカ、イギリス等が日本に対して東南アジアからの撤退を要求したため、日本は戦争を決意した。

★なぜ、原子爆弾が投下されたのだろうか。どのようにして、第二次世界大戦は終結したのだろうか。

（例）

- ・日本がポツダム宣言を受け入れなかったため、戦争の早期終結をはかろうとしたため。
- ・戦後の世界でアメリカがソ連に対して優位な立場に立とうとしたため。

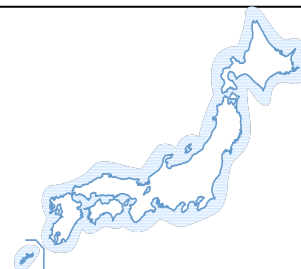
～以下略～



HOME

本時の流れへ

評価問題



## 「活用」の力を育てる評価の工夫

本時では、他の事柄や意見と比較しながら、話し手の意図をしっかりと聞き取り、自分の考えを組み立てる活動を重視している。

そのためには日頃から表現する力を育てるためのノートやワークシートなどへの書き方の指導や、言葉での説明を文字にすることに慣れさせる指導を積み上げることが重要である。

生徒自身の言葉で表現した内容等（生徒自身がまとめたワークシート等）について評価する。

## 「活用」の力を育てる評価の視点

社会科授業において、習得した知識・技能を活かして課題を解決し、思考力・判断力・表現力等を伸ばすことが「活用」の力を育てるととらえ、**毎授業時間**の中で**5～10分間**を利用しポイントを決めて、以下①～⑥の**取組**を工夫して実施する。

- ① 授業で学習したポイントや新しい気付き等を確認する評価問題(小テスト)
- ② 意見の交流や練り合いの重視
- ③ 自分の意見をはっきりと表明するためのスキルの習得と活用
- ④ インターネット等による情報の有効な活用
- ⑤ 図書館の積極的な活用
- ⑥ 情報の収集、解釈、評価に着目した活動の重視

特に①に関しては、授業の途中や最後に発展的な質問を投げかけ、その解答をノートに記入させたり、「発展問題プリント」を配布し、既習の知識や技能を活用して課題を解決させる。